

令和 7年度

事務事業評価表 (令和 6年度 の実績評価)

記入年月日
令和 7 年 4 月 15 日

事務事業名		外国語指導助手派遣事業					事業区分		担当	
		政策体系上の位置付け					新規/継続	継続	事務事業No.	020101000158
総合計画の施策名		0201 学校教育の充実					単独/補助	単独	所属課	090801 教育指導課
政策体系	政策名	02 生きがいを育む学びのまちづくり							課長名	
	施策名	01 学校教育の充実							グループ	教育指導グループ
	手段名	01 ①教育内容の充実							担当者名	
		財務会計上の位置付け					事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計			
	01	10	01	03	01	00	教育指導事業			
法令根拠							単年度繰返し (平成17年度～)			
						↳ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入				

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
児童生徒の国際理解教育の推進を目的に、市内小・中・義務教育学校に外国語指導助手を配置。中学校・義務教育学校後期課程では英語教諭とのTTによる英語指導を実施。小学校・義務教育学校前期課程では外国語活動・外国語の授業において、英語専科教員とTTによる英語指導を実施。低学年では、英語に親しむ活動時間を増やし、国際理解教育を実施している。	各校との連絡調整により、外国語指導助手の円滑な活用を図る。また、民間派遣業者への委託料の支払事務をする。

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
各校との連絡調整 民間派遣業者への委託料の支払事務	外国語指導助手人数	人	9.00	11.00	10.00	10.00	10.00
	派遣回数	回	199.00	199.00	199.00	199.00	199.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
小学生・中学生・義務教育学校生	児童生徒数	人	2,493.00	2,365.00	2,228.00	2,167.00	2,167.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
外国の言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ることのできる能力を養う 英語に慣れ親しむ	授業を楽しみにしている児童生徒	%	92.00	92.00	92.00	92.00	92.00
	積極的に英語でコミュニケーションをとろうとする児童生徒	%	85.00	88.00	88.00	88.00	88.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入量	事業費	財源内訳	千円	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	期間限定 総投入量
				(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)	
入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0			
		県支出金	千円	0	0	0			
		地方債	千円	0	0	0			
		使用料・手数料	千円	0	0	0			
		その他	千円	0	0	0			
		一般財源	千円	38,628	55,161	54,779			
		事業費計 (A)	千円	38,628	55,161	54,779			
	正規職員従事人数	人	1.00人	2.00人	2.00人				

事業費の内訳	06年度事業費 実績 (千円)			07年度事業費 予算 (千円)			
	01 報酬	5,280		01 報酬	10,920		
	08 旅費	101		08 旅費	202		
	12 委託料	49,780		12 委託料	43,657		
			合計	55,161		合計	54,779

(4) 当該年度の実施内容

※年度ごとに事業内容を記入する	07年度の事業内容	08年度の事業内容	09年度の事業内容
	各校との連絡調整により、外国語指導助手の円滑な活用を図る。また、民間事業者との契約及び委託料等の支払事務をする。	各校との連絡調整により、外国語指導助手の円滑な活用を図る。また、民間事業者との契約及び委託料等の支払事務をする。	各校との連絡調整により、外国語指導助手の円滑な活用を図る。また、民間事業者との契約及び委託料等の支払事務をする。

事務事業名	外国語指導助手派遣事業	事務事業No.	20101000158	所属課	教育指導課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 平成元年度より国が進めた国際理解教育を推進するための外国人青年招致事業「JETプログラム」により開始した。 開始時は中学生を対象としていたが現在は小学校も対象としている。平成18年度から全市的に小学校も対象とした。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 中学校・義務教育学校後期課程から、学校の授業以外にスピーチコンテストやプレゼンテーションフォーラムの時に、外国語指導助手による生徒への指導について要望がある。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 中学生が外国の言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図れる能力を養い、小学生・幼稚園児が英語に触れたり、慣れ親しむことは国際社会に対応できる児童生徒の育成に結びつく。国際理解教育は学校教育の充実にも結びつく。
	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 児童生徒に国際社会を生きるため資質や能力を養わせることは市の責務である。
	③ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 外国語に対する理解能力やコミュニケーション能力が高まった。しかし、児童生徒の英語力と異文化理解に対しては、まだ向上余地がある。
有効性	④ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 国際理解教育の充実が図れない。
	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 統廃合の可能性はない。
効率性	⑥ 事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 中学校・義務教育学校には現在の活動を増やしてほしいという要望があり減らすことは難しい。最低限必要な事項であるので削減は難しい。
公平性	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 学校規模に応じて派遣日数を調整しており、市内各校へ公平に派遣している。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		(2) 全体総括 (振り返り、反省点) これまで、外国語指導助手派遣事業については、上記のように一定の成果があった。今後も更なる児童生徒の国際理解教育充実のために、各学校での指導方法などを充実させていく必要がある。																			
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上	コスト			削減	維持	増加	維持		○			低下				
成果	向上	コスト																			
		削減	維持	増加																	
維持		○																			
低下																					
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 児童生徒の英語力と異文化理解に対しては、授業や教育活動の中でALTとの活動を通して指導等をおこなっていく。																					
(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果		①																			

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続 (現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続 (改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄
---	---